

令和6年11月14日

◆鈴木ひでし委員

私は今、お話をお聞きしていきまして、3人の先行会派の方の質疑をお聞きして、私、数点、より具体的なこと、また、全体に立った形での御質問を何点かさせていただきたいと思います。

具体というのは、そもそも共同会さんが愛名やまゆり園を引き受けた。その一つの引き受けることによって、何を目的に、指定管理の愛名やまゆり園を運営されていらっしゃるんですか。どういう理念なり、また、どういう目標を持ってやられているんですか。

◎社会福祉法人かながわ共同会理事長

歴史があると思うんです。それで、神奈川県の中での重度の行動障害の方、その方々をしっかりと受け止めていって、県の中のそういった重い障害を持った方を、しっかりと施設の中で支援をしていくというふうな理念で始まっていると思います。

◆鈴木ひでし委員

いや、理念はそうですけれども、だから、そのゴールは何を求めて走るんですか。私が言っているのは、理念は分かります、だって支援してくださっているんですから。だけれども、一人一人の利用者が、どのようにしていくという目標で運営されているんですかと聞いているんですが。

◎社会福祉法人かながわ共同会理事長

それは、個別支援計画に基づいて、一人一人の支援の在り方を議論しながら、今の意思決定支援に基づいて、本人が望む暮らしの確立ということでやっております。あくまでも、本人の希望を実現していくための支援というふうに考えております。

◆鈴木ひでし委員

ですけれども、具体的には、意思決定と言いますけれども、なかなか意思決定、難しいじゃないですか。それはどのように考えていらっしゃるんですか。

◎社会福祉法人かながわ共同会理事長

どんなに障害が重い方でも、意思はあるんだというふうに、私たちの理念ではあります。なので、言葉が出ない利用者さんでも、本人の動き方であるとか、過去の生育歴から現在までのことをしっかりと把握するということであるとか、関係者の方から話を聞くであるとか、御本人の望む暮らしというのは見えてくるんですね。本人の希望というのは、だんだんチームの中で見えてくるんです。そういう中で、本人の望む暮らしを実現していこうというような取組をしています。

◆鈴木ひでし委員

今おっしゃったことは、そのとおりだと思います、ここの机上では。でも、現場の方々に、本来だったらそういう一つのゴールというのを明確に示して、ある意味で一つ一つの対応というか、デイリーワークですよね、デイリールーチンの中で、それはきちっと共有されているんですか。愛名やまゆり園の中の職員の皆さんは、目指すものはこうなんですよ、その中でもって評価をしていきますというようなシステムが、ちゃんとなされているんですか。

◎社会福祉法人かながわ共同会理事長

そのシステムはできています。ただ、それが実際にできているかどうかというところの評価は様々あると思いますし、今回の中間報告でもありましたように、意思決定支援の取組が、欠員があるという中で負担になっているという声もしっかりと受け止めています。

◆鈴木ひでし委員

私は、理事長の最初のお話の中で、現場の方たちはこんなふうに思っていると思わなかったとおっしゃった中に、全ての解く鍵があるんだと思っているんですよ。ここで私が一対一でこういうお話をさせていただいていますが、現場の方からすれば、それこそ日々大変なルーチンの中でやっていらっしゃる。でも、その評価というものと、多分、私は、言葉を気をつけて言わなきゃいけないんですが、企業の中でも、言ったことが例えば届かない。また、言っていることを実現するためのツールをください。また、私たちが言っていることが、どこで止まっているんでしょうかというようなことがあまりに厚いと、そういう状況になりますよね。事故が起こっているというのは、そういうことなんじゃないかと思うんですよ。私、失礼ですが今日、ストレートに言わせていただきます。すみません、私も1年目の、しばらくずっと厚生常任委員会に入っていないで、過去のことは私、分かりません。ただ、少なくとも今、私が今まで質疑をやってきたものをお聞きした中で、そのことが一つ言えるのではないかと思います。なぜなのかというと、ここに契約書があるんですけども、その46条に、管理業務の日誌等と書いてあるところがあるんですよ。この中に、管理施設の利用者から苦情、意見等及びそれに対する対応状況というものを日誌にしろということになっているんですが、これ逆に、守園長さん、日々のいろんな問題が起こった等々の日誌を、要するに、どのような形で集められていらっしゃるんですか。

◎愛名やまゆり園長

利用者さんの支援日誌ですけれども、支援員が日勤・遅番でローテーションする中での記録の時間があって、その日の様子を記録に打つということで、一日両方の日誌というものがシステム上出てきて、印字をすることができます。その日誌は、課長の決裁したものが、その日にあれば、その次の日に私のところまで届くようになったり、休みがあれば、まとめて届くようなことになったりして目を通すことにしているのと、それだと時間がかかりますので、そこから特記事項を抜粋したものを、A3一枚にまとめたもので状況を確認するようにしています。

苦情については、その中で利用者さんからこんな話があった、こんな話があったというところは確認し、それぞれで対応してもらおう。必要であれば、例えば寮会議であったり、寮長が集まる寮長会議であったり、課長会議、幹部会議であったりして、課題解決などを話し合うような形で取り組んでいるところではあります。

◆鈴木ひでし委員

今、園長からお話がありましたけれども、それは正常に動いていたら、こういうことはなかったですよ。そのシステムそのもの自体、何が欠陥があると思われますか。そういうことでこうなったわけですよ、それが出ていても。

◎愛名やまゆり園長

ここで問題になっている風通しというところは、日誌でそういった集約だけで、集約でき切れていなかったというところ、あとは、会議で出た課題などを組織の中で受け止め切れなかった、そういったところできていなかったところだと思います。

◆鈴木ひでし委員

私は何も責めていることじゃなくて、具体的な、要するに解決策を、ここで一つ一つ提言していかなきゃいけないと思ったんですよ。というのは、ホームページにも出ている各指定管理のモニタリング結果報告書を見ていると、実は、失礼ですが、愛名やまゆり園は何度も、令和元年からいろんな指摘を受けているんですよ。虐待がありませんかとか、通報がありますよって出ていて、なぜこのとおりにならないのか。だから、先ほどお話の中で、理事長さん、3年前からですか、今日のこの状態は知っていたわけだ。私はそうなってくると、今ここでもって質疑をしていることというのは、「そうです」「大丈夫です」とおっしゃっているけれども、何度も何度もさっきから出てきている話というのは、8年前とそんなに変わらない状況なんじゃないのかと。私は、これだって県民に公開されている情報ですよ。なぜか不思議なことに、利用者たちがSなんだ。Sって何だ、90%以上が満足しているということですよ。どこから出てくるのかな、こんな数字が。私も見ていて、先ほど指定管理の関係の部局にも電話をしました。私、こういう中で、もう一つ本当に真剣に捉えていくためには、今、理事長のところにデータが集まっていらっしゃる、当然、手書きじゃないですよ、その日誌というのは。パソコン等で当然、打ち込まれているんですよ。お聞きします。

◎愛名やまゆり園長

日誌は、パソコンで打ち込まれるシステムになっています。

◆鈴木ひでし委員

そうであるならば、本当にこれから一つの提言として、何ページも出てくる、例えば報告書の中から、AIできちっと解析して、何が問題点なのか、まずは、私はあぶり出すべきだと思いますよ。そんなこと、650万枚でも何でも出てくる

システムになっているんですから、A I 自体が。それ一つ、また考えられたらいかがかなというのが一つ。

二つ目には、ここを見ながら二つ目に思ったことなんですけれども、確かに今回の改善点というのが、ア、イ、ウ、エ、オ、カに出ている。ところが私、この中でもっと何を指すのかということ、例えば、キとして何を指すのかというようなことの従業員への徹底というようなものをきちっとされなきゃいけないのではないかなというのが一つ。二つ目には、従業員の方の満足度ということについてどうするんだと。これはやっぱり、しっかり私は公にすべきだと思いますよ、クか。この点どうでしょうか。私は一つ一つ、過去にあったことをほじくり出してもしょうがないので、未来に向けての私の一つの考えなんですよ、今までお聞きしていた中で。どうですか。

#### ◎社会福祉法人かながわ共同会常務理事

従業員への徹底の関係、これは実は、案をまとめるときにその意見が出ました。今回の中間報告を読ませていただいて、従業員の法人に対する不信というか、そういうものが多くて、ちょっと言い方はよくないですけども、格好いいことを法人は言うけれども、何もしてくれていないという意見が大分強く出ておりますので、それに関して、これ議論がありますので、ただ、今、委員おっしゃっていた従業員への徹底ということも含めて、これは法人の姿勢をしっかりと見せることだという意見で、こういうのがまとめられておりますので、今の御意見は貴重な意見として考えて、実際、職員にどうできるか、引き続き考えたいと思います。

#### ◆鈴木ひでし委員

私はこういう状況下の中で、集団支援との決別というのは、それはそうかもしれないんですけども、私、何にも増して従業員の方々が、ウエルビーイングというけれども、それこそ今の時代に一番というのはウエルビーイングですよ。愛名やまゆり園でウエルビーイングってどうやってつくるの、従業員の。これをしっかり、管理職に失礼ですが、お三方が考えていただかないと、申し訳ないですけども、今、常務理事がおっしゃった、何を言っているんだ、机上の中ではそんなこと誰でも言えるよという、現実にはこれが欲しい、これができていない、これができていないというのを明らかにすることが大事だと思いますので、一つまた提言しておきたいと思います。

私、三つ目の中で考えたことなんですけれども、愛名やまゆり園の具体的な方向性というようなものは、これから新しく出していただくと聞いたんですが、せっかく今回、第三者委員会の方々と従業員の方がここまで深く話をされたんだあるならば、第三者委員会の方々と具体的な、もっと要するに進捗度みたいなもの、これはある意味で、例えば、プロジェクトを具体化したような形で、何項目になるのか、いよいよまたブレークダウンするのか、私、分かりませんが、それはやっぱり進捗状況をしっかり第三者の方々と見ていくというやり方もあるのかもしれない。この中で出てきている愛名改善チームというのはあるのかもしれませんが、せっかく第三者委員会の方々を信用して

いろんな意見を出したのであるならば、その方たちが一番問題を分かっているわけで、これはどのようにしていったらいいのかというようなことについて、より具体的な方向性というようなものについて話し合いをしていくべきだというふうに思いますけれども、いかがですか。

#### ◎社会福祉法人かながわ共同会理事長

第三者委員会、本当に今回、貴重な中間報告を頂きました。先ほど休憩前の話のときに、改善実行プランのような名称で今後の方向性についてまとめると。それを、私としては第三者委員の方に見ていただきたいと思っていて、提言から、私たちは今こういうことを考えているということ具体的にして、そこで評価を頂きたい、そういうやり取りが多分出てくると思うんですけども、そういったことで、今後お付き合いができたならということと、それから、中間報告という形になっているので、必ず中間の次、最終報告はどうなんだという、必ずそういった疑問は、私も含めてあると思うんですけども、第三者委員会の方々と今後の進め方についての話し合いはまだできていません。あまりにも内容が膨大な中間報告を頂いたので、まずこれについてしっかりと法人が受け止めて、その方向性を、先ほど申し上げた改善実行プランの中に落として、第三者委員会のほうに相談したいというふうに思っております。ありがとうございます。

#### ◆鈴木ひでし委員

最後に私、御提案させていただきたかったのは、中間管理職の方々、マネジメントに関わっていらっしゃる方々が、風通し風通しと言いますけれども、中間管理職の方々が、津久井やまゆり園をひっくるめて、神奈川県が何を目標しているのか、共に生きる社会、あるいは当事者目線というのもありますけれども、これに対する本当に理解というようなものを、しっかり中間管理職の方々から、しっかりとまた学ぶという言い方はおかしいですが、心に本当に入れていかなきゃいけないんじゃないのかと、私は思っているわけでございます。このところ、ひとつ理事長さんにその1点と、もう1点は、意思決定とはおっしゃっているけれども、私はずっとここで、常任で言っているんですが、心に見える化じゃないかと思っているの。心をどうやって見ていくんだと。どんな人でも、どのような、例えば、障害をお持ちでも、心をお持ちで、その心を本当に見える化していくことが、逆に私は、共同会の方々に将来お願いしたかったのは、強度行動障害の中では、共同会が先進性を行っている、あそこに聞けば何でも分かるというようなものになるために、そもそもが、神奈川県が委託したという経緯をお聞きしたような気がしました。そこらのところ二つでございしますが、これはまた答弁は結構でございますので、私の思いとして提言させていただいて、質問を終わります。